

内閣官房 知的財産戦略推進事務局提出資料

平成27年9月17日

内閣官房



- クールジャパン戦略の深化を目的に、2015年1月より、官民メンバー参加の下、「クールジャパン戦略推進会議」を開催。
- 「クールジャパン戦略深化のための5つの視点」に基づき、「民間の取組モデル」と「政府の今後の取組」を取りまとめ。

クールジャパン戦略深化のための5つの視点

1. 様々な取組に横串を刺し、デザイン視点での編集によって魅力を高める。
2. 官民の活動を俯瞰し、相互に連携させる。
3. 世界中から日本に人材を引きつける「人材ハブ」を構築する。
4. 日本の魅力を外国人目線で再編集し、外国人と協働して発信・展開する。
5. 地方の魅力を、海外で受け容れられるようにプロデュースする。

クールジャパン戦略深化のための 民間と政府の取組

民間の4つの取組モデル-プロジェクトアイデア-

政府の支援も活用しつつ、民間において以下のプロジェクトが具体化されることを期待

- デザイン分野** 海外のデザイン人材を取り込むため、「デザインラボ/スクール」を設立する。
- コンテンツ分野** 音楽業界一体となった海外進出を後押しする「エージェント組織」及びコンテンツ利活用の拠点を設立する。
- 食分野** 「食の大学院」や「重点都市拠点」等の設立を通じ、日本食の魅力を発信するシステムを構築する。
- 地方 観光分野** 地方の魅力の発掘・磨き上げを行う「ローカル・クールジャパン・プロデュース事業」体制を設立する。

政府の5つの横断的取組 -アクションプラン-

1. 官民連携プロジェクトを組成するため、「官民連携プラットフォーム」を創設する。
2. 各分野の人材・情報の集積・発信拠点の構築を目指す民間の取組を、政府が連携して支援する。
3. 日本ファンの外国人などをアンバサダーとしてネットワーク化する。
4. ジェトロ等や地方自治体と連携し、地方におけるクールジャパン相談窓口を整備する。
5. 地域プロデューサーをリスト化し、地方に情報提供する。

※上記を含め、「情報発信」、「海外展開」、「インバウンド振興」、「地方の魅力の発掘・発信」に係る合計32の取組を実施。

「クールジャパン戦略推進会議」構成員

政府メンバー

- 山口 俊一:クールジャパン戦略担当大臣<座長>
- 平 将明:クールジャパン戦略担当副大臣<副座長>
- 世耕 弘成:内閣官房副長官
- 総務省、外務省、財務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省の副大臣
- 松本 洋平:クールジャパン戦略担当大臣政務官
- 平田 竹男:内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長(内閣官房参与)

民間有識者

- アストリッド クライン:建築家
- 生駒 芳子:ファッション・ジャーナリスト/
公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団 理事
- 梅澤 高明:A.T. カーニー 日本法人会長
- 大石 征裕:一般社団法人 日本音楽制作者連盟 理事長
- 亀井 智英:Tokyo Otaku Mode Inc. 共同創業者/CEO
- 楠本 修二郎:カフェ・カンパニー(株) 代表取締役社長
- 佐浦 弘一:浦霞醸造元 (株)佐浦 代表取締役社長/
日本酒造組合中央会 理事 需要開発委員長
- 高島 宗一郎:福岡市長

- 高橋 智隆:(株)ロボ・ガレージ 代表取締役
- 高橋 広行:(株)ジェイティービー 代表取締役社長
- 田川 欣哉:takram design engineering 代表
- ダニー チュー:カルチャー・ジャパン プロデューサー
- 玉沖 仁美:(株)紡 代表取締役
- テイト クリストファー:コネクフリー(株)
代表取締役総合開発責任者兼CEO
- トム ヴィンセント:(株)Tonoloop Networks 代表取締役
- 中川 悠介:アソビシステム(株) 代表取締役社長
- 中村 伊知哉:慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授
- 夏野 剛:慶應義塾大学政策・メディア研究科 特別招聘教授
- 福原 秀己:エース・プロダクション プロデューサー
- 宮河 恭夫:(株)サンライズ 代表取締役社長
- 渡邊 賢一:一般社団法人元気ジャパン ソーシャル・プロデューサー

関係機関

- 太田 伸之:(株)海外需要開拓支援機構(クールジャパン機構)
代表取締役社長
- 浜野 京:独立行政法人 日本貿易振興機構 理事

情報発信

海外展開

インバウンド振興

地方の魅力の発掘・発信

の各段階で**合計32**のアクションプラン

日本産酒類に関するアクションプラン

○ 日本ファンの外国人との協働

海外において日本産酒類の正しい知識を有した専門家を育成するため、日本で日本酒研修を実施する。【内閣官房(日本酒)、財務省(国税庁)、農林水産省】

○ 在外公館等を活用した情報発信

在外公館におけるレセプションイベントなどの機会を活用し、また、官民で連携しつつ日本文化や食、音楽等の日本の魅力発信を行う。【外務省、農林水産省、内閣官房(日本酒)、財務省(国税庁)】

○ 国際空港を利用した情報発信

主要な国際空港(成田・羽田・中部・関西)において、日本酒・焼酎の試飲や外国人が見学可能な酒蔵情報等を紹介し、訪日外国人等に日本酒・焼酎の魅力をPRする。【内閣官房(日本酒)、国土交通省、財務省(国税庁)】

○ 日本食レストランの推奨

日本食材・日本産酒類を積極的に取り扱おうとする海外日本食レストランを日本食文化のサポーターとして民間団体が推奨する体制を創設する。【農林水産省、内閣官房(日本酒)】

○ 日本産食品の認定

日本産酒類のブランド向上等を図るために地理的表示制度等の見直し等の検討を行う。【内閣官房(日本酒)、財務省(国税庁)】

○ 日本酒の観光資源としての活用

酒蔵開放や酒蔵体験、日本酒をテーマにしたイベント、スタンプラリーなどの仕組みづくり、外国人向けツアーのプロデュース等、様々な取組や他の観光資源との連携を行う。【内閣官房(日本酒)、国土交通省、財務省(国税庁)】

知的財産戦略推進事務局の取組

○ 地方版クールジャパン推進会議

クールジャパン担当大臣が参加し、日本産酒類等の地方の有識者等とともに、海外展開やインバウンドの取組に関する成功事例や課題を議論し、地方のクールジャパン資源を発掘・発信。

開催実績

これまでに7回開催（京都府、愛媛県、石川県、宮城県、茨城県、鳥取県、北海道）

日本産酒類関連出席者

- ◆長慶寺 久仁子氏(向井酒造(株) 社氏)[京都]
- ◆中城 英敏氏(愛媛県酒造協同組合 理事長)[愛媛]
- ◆松浦 文昭氏(松浦酒造(有)代表取締役 社氏)[石川]
- ◆佐浦 弘一氏(霞醸造元(株)佐浦 代表取締役)[宮城]
- ◆木内 敏之氏(木内酒造(資) 取締役)[茨城]
- ◆大谷 修子氏(大谷酒造(株) 代表取締役)[鳥取]



大谷酒造(株)[鳥取]



木内酒造(資)[茨城]



○ 海外における情報発信

クールジャパン戦略担当大臣等の海外出張におけるクールジャパン発信イベントやレセプション等において、日本産酒類を紹介。

今後は、2016年ブラジル・リオのオリンピックなど、国際的な大規模イベント等の機会を活用し、効果的な情報発信を実施。



実績

イタリア・ミラノ（2015年9月）において実施。

現地メディアなど情報発信力のあるインフルエンサー等約100名が参加。